

気候変動をめぐる国内外の動向 と2026年の見通し

平田仁子 Kimiko Hirata, Ph.D
Climate Integrate 代表理事



国際情勢と日本の気候・エネルギー政策の見通し(1)

• トランプ大統領の影響

- IPCC、気候変動枠組条約・パリ協定などから離脱
- 国内の方針転換（再エネ、EV打撃）、科学・統計データ喪失
- 気候外交の停滞

• イラン情勢の影響に対する対応

- 燃料逼迫 ⇨ 安定供給 ⇨ 化石燃料資源の供給元の多様化
- 価格高騰 ⇨ 価格安定化 ⇨ 化石燃料への補助金・政府支援（電気ガス・燃料油）
- 経済影響 ⇨ 継続維持 ⇨ 省エネ要請なし

国内では再エネ・エネルギー効率化への動きは見えてこない

・ 気候・エネルギー政策との関連

○ 政策コミットメント

第7次エネ基・地球温暖化対策計画・GX、2030・2035・2040年GHG削減目標

○ 化石燃料・原発・火力への支援の拡大

- 原発テロ対策施設の「運転開始から5年以内」期限実質的延期
- 電力広域的運用推進機関（OCCTO）の財政支援（原発・火力の新規電源）
- 容量市場・長期脱炭素電源オークション（原発・火力・蓄電池）
- 非効率石炭火力の稼働へのインセンティブ（稼働率を50%超の容量確保契約金20%減額措置を26年度適用しない）

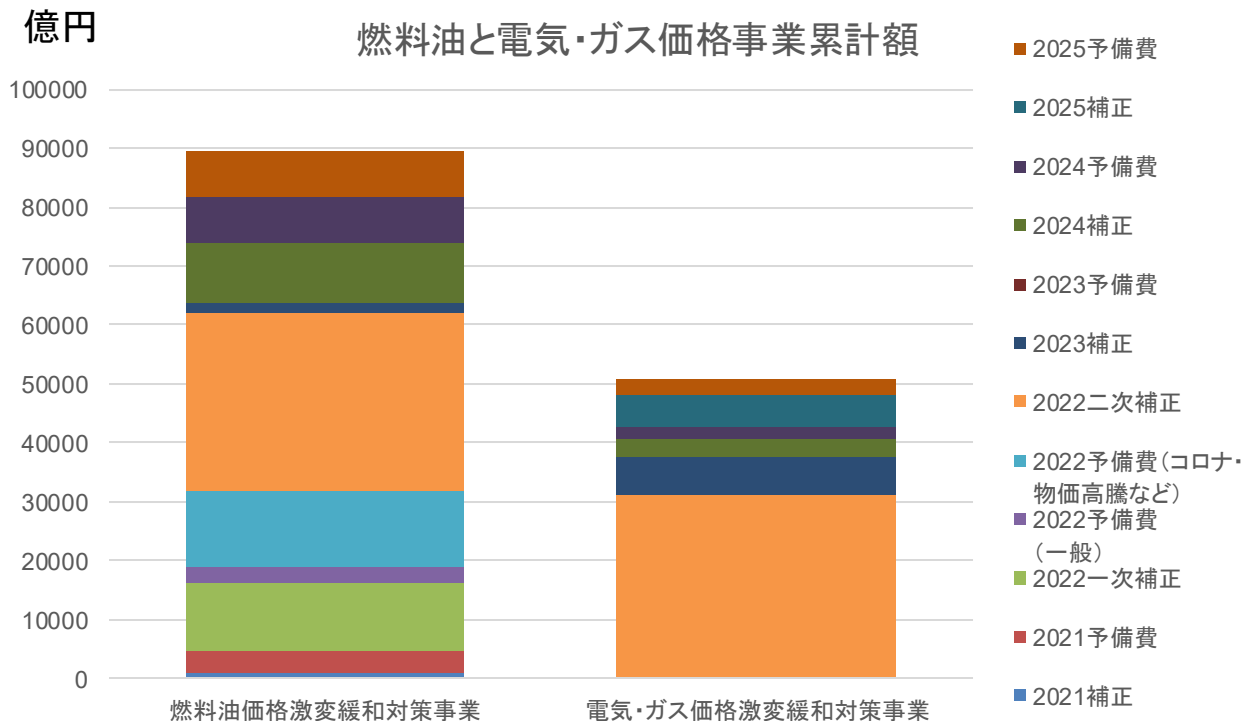
国際情勢と日本の気候・エネルギー政策の見通し(3)

・ 気候・エネルギー政策との関連

- 弱い再エネ・EVに対するインセンティブ
 - 太陽光・プラグインソーラー・営農型の支援加速の動き？
 - サプライチェーン構築・洋上風力事業の支援加速の動き？
 - EVを大幅に拡大する動き？
- 脱炭素革新的技術（アンモニア・水素・CCUS）
 - 水素社会等推進法で価格差補助。実態としては引き続き高コスト
- GX-ETS始動
 - エネルギー効率向上・再エネ拡大・企業の体質改善・経営方針の転換への寄与？

燃料油と電気ガス価格事業の累計額（2021-2025年度）

燃料油 9兆円・電気ガス 5兆円 = 14兆円



第1回化石燃料からの移行会議（26年4月28-29日）

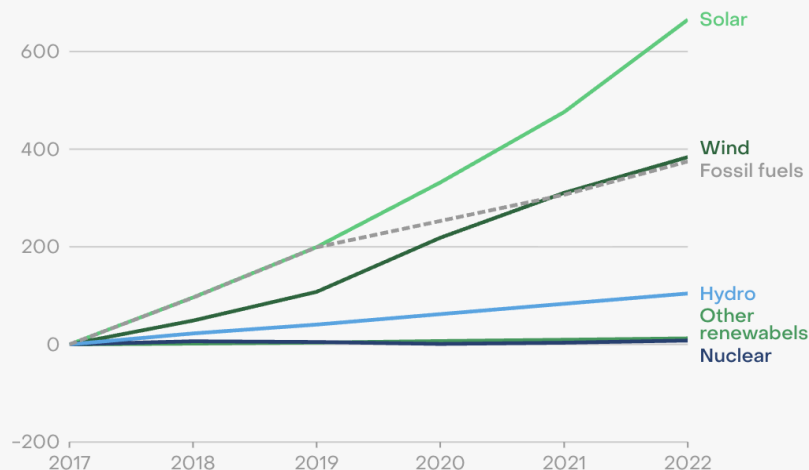
- コロンビア・オランダ主催
- 85カ国参加・UNFCCCプロセスを補完
- ミドルパワーの行方
- トピック
 - 化石燃料の経済的依存からの脱却
 - 需給両面での移行・補助金撤廃
 - 国際協力と気候外交
- 日本は不参加



国際トレンドー太陽光・風力の伸びが最大・コストも大きく低下

Global wind and solar capacity additions have outpaced all other clean technologies

Cumulative net capacity additions since 2017 (GW)

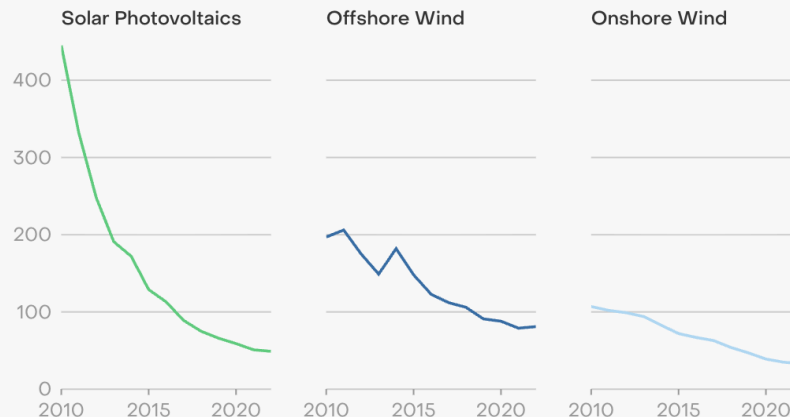


Source: IRENA

EMBER

The cost of wind and solar power has dramatically reduced over the past decade

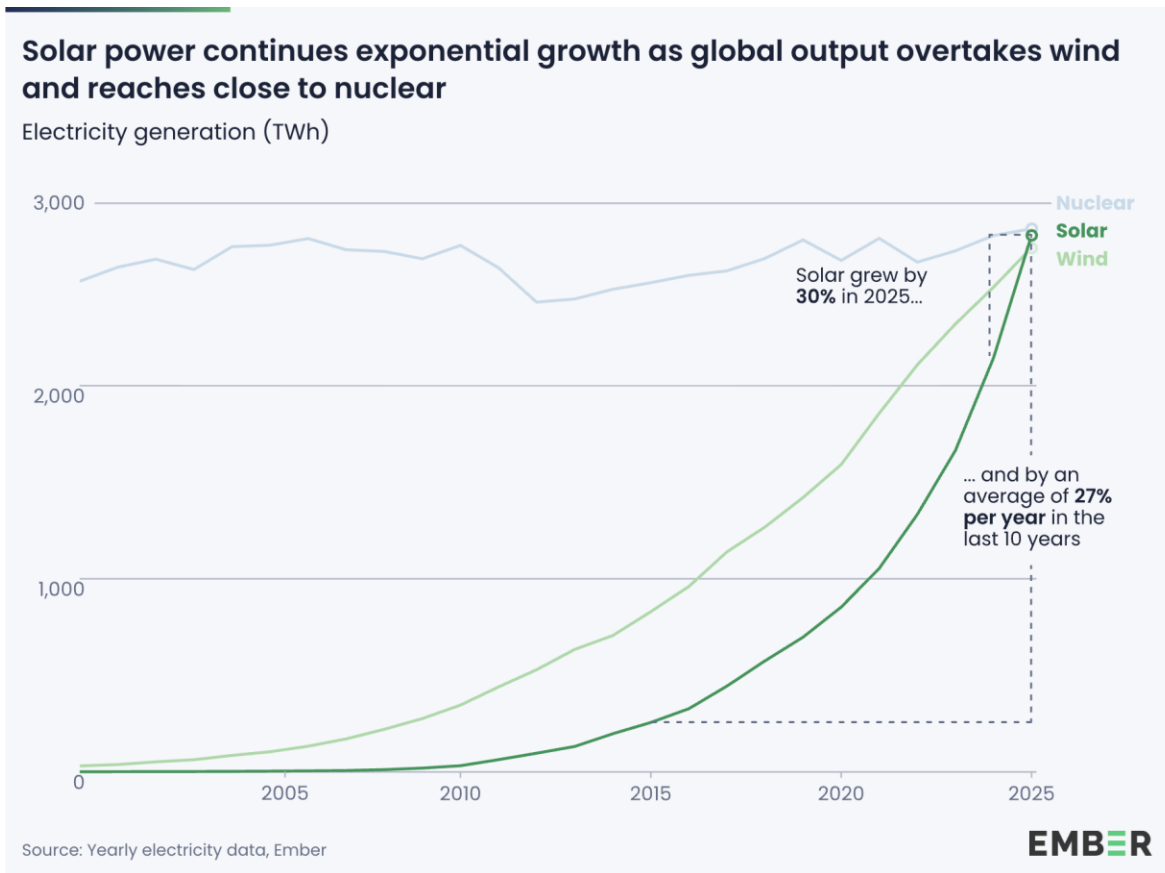
Levelised cost of electricity, global weighted-average (USD/MWh)



Source: IRENA

EMBER

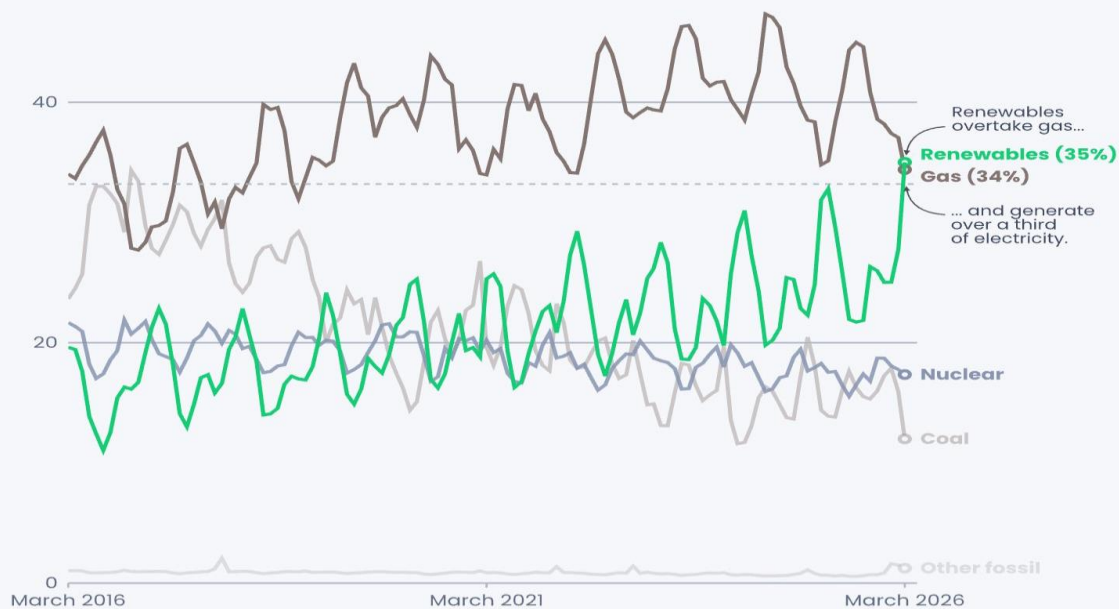
国際トレンドー太陽光の発電電力量は風力を超え、原発と同等に



国際トレンドーアメリカでは3月、再エネ発電量がガスを上回った

In March, renewables generated more than a third of US electricity for the first time ever, overtaking gas

Share of electricity generation (%)

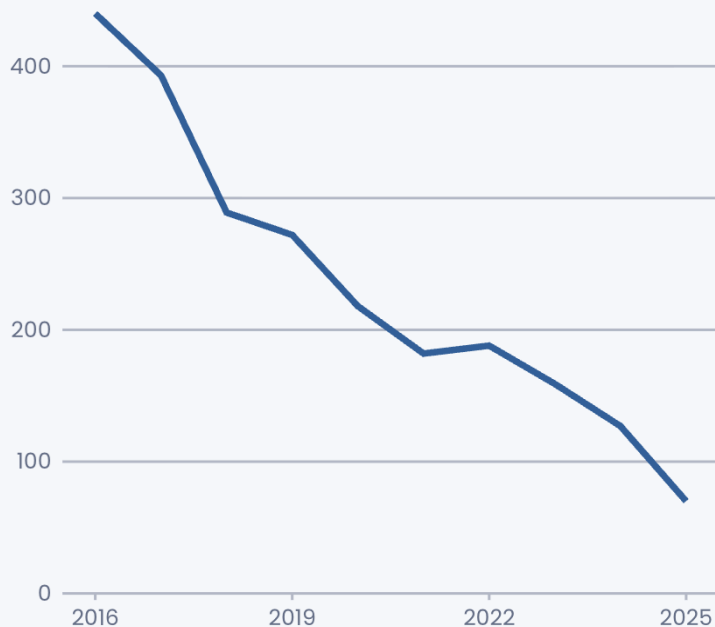


Source: Monthly electricity data, Ember, Electricity Data Explorer
Renewables includes solar, wind, hydro, bioenergy and other renewables.

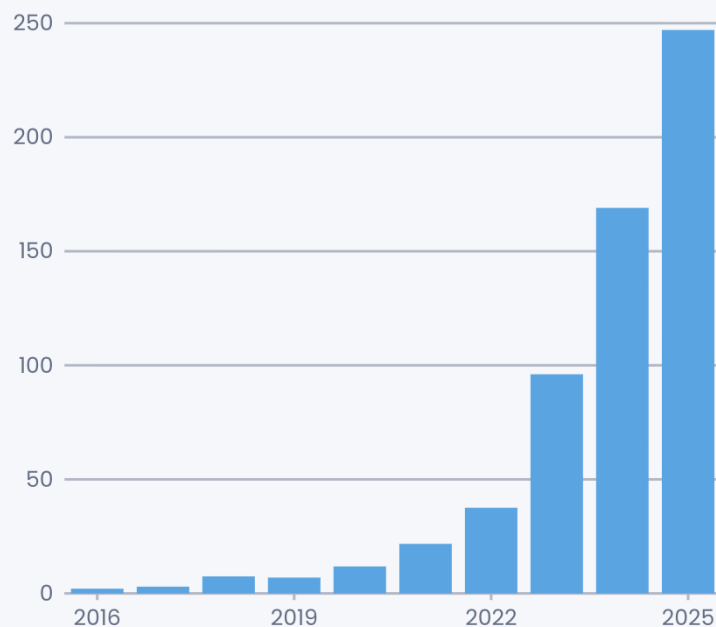
国際トレンドーバッテリーの価格も大きく低下

Battery prices continued their free fall in 2025 while installations are surging

Battery pack price - stationary storage (USD/kWh)



Battery storage capacity additions (GWh)

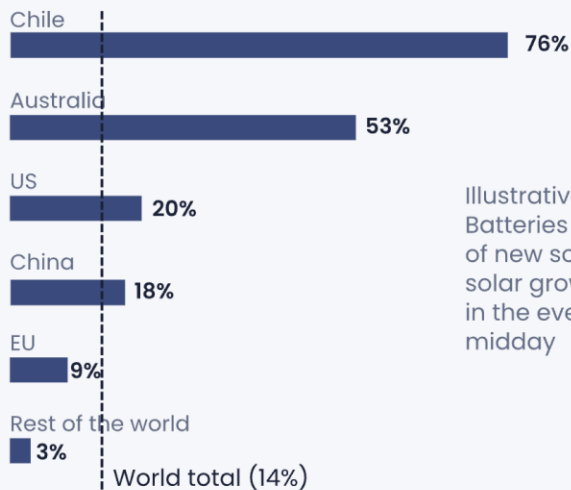


Source: BloombergNEF • Volume-weighted average prices in 2025 real USD
2025 capacity additions are projected

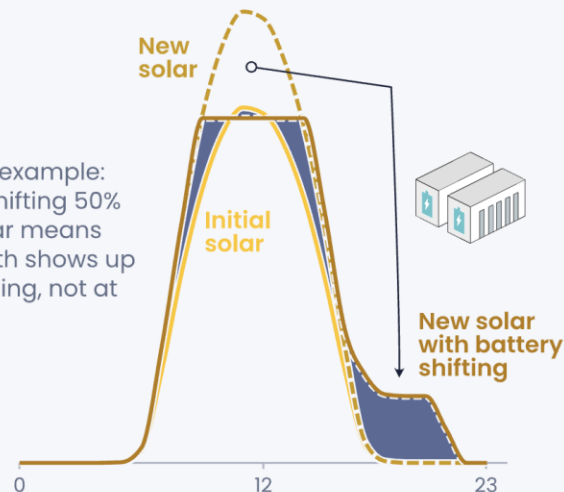
国際トレンドーバッテリーにより昼間の太陽光の発電を夕方へシフト

Australia and Chile added enough new battery capacity to move more than 50% of the solar they added in 2025

Share of new solar generation that can be shifted using new battery storage (%)



Illustrative example: Batteries shifting 50% of new solar means solar growth shows up in the evening, not at midday



Source: Ember • Battery capacity additions based on BNEF, AEMO, ACERA, SolarPower Europe, Benchmark Mineral Intelligence

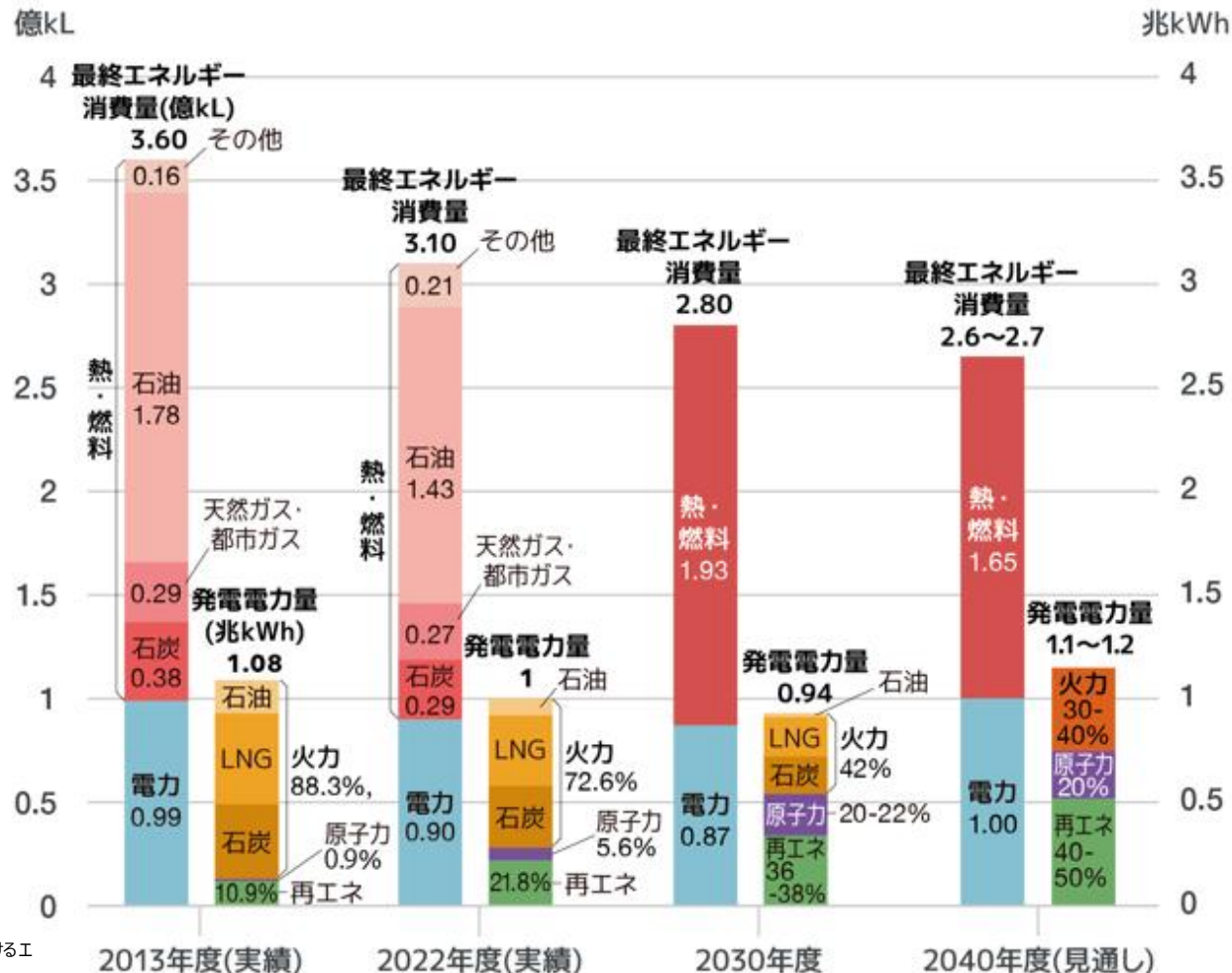
Shifting solar refers to the theoretical amount of the average daily solar generation added in 2025 that can be absorbed by battery capacity and redistributed to a different time

政府のエネルギー政策の方向性

- 特定の電源・燃料に依存しない
- 再エネも原子力も火力も推進

最終エネルギー消費と発電電力量

(※) 2030年度の値は第6次計画策定時。
 出典：「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」「2040年度におけるエネルギー需給の見通し」を基にClimate Integrate作成



エネルギーセキュリティと脱炭素の実現のための4つのアプローチ

化石燃料からの脱却

石油・石炭・ガス
製造業・運輸・家庭業務

再生可能エネルギーの拡大

電力：太陽光・風力
熱・地中熱など

電化の促進

産業・運輸・農林水産業
空調・給湯・調理

エネルギー効率化・省エネ

製造プロセス・システム・製品・機器
がまんではなく知恵と工夫

安全保障・安定供給・自給率向上の対応策の必要性

- **太陽光発電の普及**
 - 屋根置き・プラグインソーラー・営農型太陽光・ソーラーカーポート
- **再エネの最大限の利用 – コスト削減に直結**
 - 出力抑制時間帯の活用・蓄電池の普及
- **省エネ・エネ効率化・資源リサイクル**
 - 断熱・システム効率化・脱プラスチック・リサイクル
- **EVの拡大支援**
 - 自家用車・営業車・公用車・バス
 - 交通政策・料金設定
- **洋上風力発電のR1再公募・R4の公募**
 - 黎明期の産業政策としてのロードマップ・グランドデザイン・支援
- **GXの活用：太陽光やEVの生産・サプライチェーン・導入拡大支援、海底直流送電事業など**
- **日本版排出量取引制度（GX-ETS）の適正運用と強化（企業の競争力向上）**

出典：政府資料よりClimate Integrate作成

2026
年版10 気候変動をめぐる
のハイライト2026
年版10 気候変動をめぐる
のハイライト